



2019年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年6月14日

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社
 コード番号 4355 URL <http://www.longlife-holding.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 瀧村 明泰

TEL 06-6373-9191

四半期報告書提出予定日 2019年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第2四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第2四半期	6,603	3.5	93	47.1	48		114	
2018年10月期第2四半期	6,379	8.3	177	5.7	39		76	

(注) 包括利益 2019年10月期第2四半期 120百万円 (%) 2018年10月期第2四半期 80百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第2四半期	11.20	
2018年10月期第2四半期	7.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第2四半期	17,502	2,930	16.7	286.30
2018年10月期	16,609	3,132	18.9	306.08

(参考) 自己資本 2019年10月期第2四半期 2,930百万円 2018年10月期 3,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期		0.00		8.00	8.00
2019年10月期		0.00			
2019年10月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	9.6	420	42.1	340	764.4	85		8.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期2Q	11,190,400 株	2018年10月期	11,190,400 株
期末自己株式数	2019年10月期2Q	955,605 株	2018年10月期	955,605 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期2Q	10,234,795 株	2018年10月期2Q	10,234,795 株

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前年末の米国の株安や米国と中国の貿易摩擦の影響を受け、わが国の証券市場においても株価が乱高下する混乱が見られ、企業利益や設備投資の減少等、足踏み感が広がっております。

介護サービス業界においては、政府が「一億総活躍社会」の実現に向けて介護離職ゼロの方針を掲げ、介護施設の整備・増設対策を打ち出す一方、サービスの担い手である人材の確保について厳しい状況が続いております。

当社グループは、事業の要である人材に対して、多様な働き方や職場環境を提供するため、ワークライフバランスや研修制度の充実、処遇改善、海外展開によるグローバル化等の取り組みを行ってまいりました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は66億3百万円（前年同期比3.5%増）と増収となりましたが、営業利益は前連結会計年度後半に開設した施設の固定費増などにより93百万円（前年同期比47.1%減）となり、経常利益は48百万円（前年同期は39百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は減損損失94百万円を計上したことなどにより1億14百万円の損失（前年同期は76百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社（現ロングライフメディカル株式会社）への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しており、遡及処理後の前年同期数値との比較を行っております。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるホーム数は22ホームで居室総数は960室となっております。ホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は22億99百万円（前年同期比3.2%増）、経常損失は1億12百万円（前年同期は39百万円の経常利益）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるサービス数は135サービスとなっております。事業拠点の見直しによる収益力の向上並びに障がい支援サービス等の介護保険適用外サービス獲得のための活発な営業活動を行っております。

在宅介護事業の売上高は27億72百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益は16百万円（前年同期比37.8%増）となりました。

③福祉用具事業

福祉用具事業につきましては、福祉用具の販売・レンタル、住宅改修の専門企業として、お客様の日常生活の自立を支援するサービスを提供しております。

福祉用具事業の売上高は7億58百万円（前年同期比10.3%減）、経常利益は4百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

④フード事業

フード事業につきましては、主に当社グループが運営する有料老人ホーム等に食事を提供しております。また、オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めてまいりました。

フード事業の売上高は25百万円（前年同期比0.1%減）、経常利益は4百万円（前年同期比71.3%減）となりました。

⑤リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っております。

リゾート事業の売上高は2億65百万円（前年同期比172.2%増）、経常利益は17百万円（前年同期は95百万円の経常損失）となりました。

⑥その他

その他につきましては、調剤薬局事業及び医療関連事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフグローバルコンサルタント株式会社」及び「朗楽(青島)頤養運営管理有限公司」の3社により構成されております。

当セグメントの売上高は4億82百万円（前年同期比36.3%増）、経常利益は8百万円（前年同期は15百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億92百万円増加し、175億2百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より2億61百万円増加し、49億78百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が2億56百万円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より6億31百万円増加し、125億23百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が5億73百万円、のれんが32百万円それぞれ増加したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より1億41百万円減少し、75億32百万円となりました。その主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が50百万円、未払金が44百万円、未払法人税等が48百万円それぞれ増加し、短期借入金が3億81百万円減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より12億36百万円増加し、70億39百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が12億38百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ2億2百万円減少し、29億30百万円となり、自己資本比率は16.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少し、12億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純損失が57百万円と前年同期と比べ16百万円の減益となりましたが、3億82百万円の資金増加と前年同期と比べ収入が3億91百万円の増加となりました。収入要因として、減価償却費2億23百万円、減損損失94百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9億23百万円の資金減少と前年同期に比べ支出が4百万円の減少となりました。支出要因として、有形固定資産の取得による支出8億17百万円、吸収分割による支出70百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは7億91百万円の資金増加と前年同期に比べ収入が5億91百万円の減少となりました。収入要因として、長期借入れによる純増額の12億88百万円などであり、支出要因として、短期借入金の減少による支出3億81百万円などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期の業績予想につきましては、2019年3月6日に公表しました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,263	1,536,232
受取手形及び売掛金	1,682,523	1,660,415
たな卸資産	217,871	197,352
預け金	1,140,345	1,160,704
その他	409,351	424,250
貸倒引当金	△11,732	—
流動資産合計	4,717,622	4,978,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,809,438	8,611,342
減価償却累計額	△2,977,119	△2,975,966
建物及び構築物 (純額)	5,832,318	5,635,376
車両運搬具	16,807	16,606
減価償却累計額	△11,213	△12,151
車両運搬具 (純額)	5,594	4,455
工具、器具及び備品	799,330	772,890
減価償却累計額	△487,144	△489,169
工具、器具及び備品 (純額)	312,185	283,721
土地	3,679,322	3,679,322
リース資産	340,413	345,135
減価償却累計額	△307,074	△314,979
リース資産 (純額)	33,338	30,156
建設仮勘定	914,418	1,717,679
有形固定資産合計	10,777,178	11,350,712
無形固定資産		
のれん	—	32,747
その他	46,499	52,039
無形固定資産合計	46,499	84,786
投資その他の資産		
投資有価証券	126,031	111,665
関係会社株式	0	5,000
差入保証金	740,594	756,633
長期前払費用	57,097	55,007
繰延税金資産	20,104	31,390
その他	124,605	128,000
投資その他の資産合計	1,068,433	1,087,696
固定資産合計	11,892,111	12,523,195
資産合計	16,609,734	17,502,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,102	177,437
短期借入金	551,200	170,000
1年内返済予定の長期借入金	378,660	428,660
リース債務	14,475	11,620
未払金	396,653	441,333
未払費用	585,298	589,393
未払法人税等	20,546	69,383
前受金	5,353,030	5,375,217
賞与引当金	96,536	112,999
契約解除引当金	14,554	11,626
その他	71,653	144,443
流動負債合計	7,673,710	7,532,115
固定負債		
長期借入金	5,540,135	6,778,660
リース債務	17,353	16,411
繰延税金負債	22,016	17,462
退職給付に係る負債	99,728	111,998
資産除去債務	112,905	102,867
その他	11,197	12,384
固定負債合計	5,803,336	7,039,786
負債合計	13,477,046	14,571,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	3,245,695	3,049,196
自己株式	△251,175	△251,175
株主資本合計	3,094,520	2,898,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,742	34,419
為替換算調整勘定	△2,575	△2,192
その他の包括利益累計額合計	38,167	32,227
純資産合計	3,132,687	2,930,248
負債純資産合計	16,609,734	17,502,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
売上高	6,379,088	6,603,471
売上原価	4,987,890	5,186,650
売上総利益	1,391,198	1,416,821
販売費及び一般管理費	1,214,118	1,323,175
営業利益	177,079	93,645
営業外収益		
受取利息	28	29
受取配当金	559	637
受取保険金	180	4,995
その他	3,545	9,894
営業外収益合計	4,314	15,556
営業外費用		
支払利息	38,124	42,183
支払手数料	148,331	14,033
租税公課	19,722	—
持分法による投資損失	2,308	—
その他	12,818	4,174
営業外費用合計	221,304	60,391
経常利益又は経常損失(△)	△39,911	48,810
特別損失		
減損損失	—	94,186
投資有価証券評価損	—	5,323
その他	1,410	7,037
特別損失合計	1,410	106,546
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,321	△57,735
法人税、住民税及び事業税	32,949	69,384
法人税等調整額	1,798	△12,499
法人税等合計	34,747	56,884
四半期純損失(△)	△76,069	△114,620
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△76,069	△114,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
四半期純損失(△)	△76,069	△114,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,054	△6,323
持分法適用会社に対する持分相当額	2,308	—
為替換算調整勘定	385	383
その他の包括利益合計	△4,360	△5,940
四半期包括利益	△80,430	△120,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,430	△120,560
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,321	△57,735
減価償却費	167,959	223,001
のれん償却額	—	2,977
長期前払費用償却額	12,415	6,483
減損損失	—	94,186
金利スワップ評価損益(△は益)	11,506	1,755
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△11,732
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,269	16,462
契約解除引当金の増減額(△は減少)	△380	△2,928
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,735	12,270
受取利息及び受取配当金	△588	△666
支払利息	38,124	42,183
持分法による投資損益(△は益)	2,308	—
有形固定資産除却損	283	6,337
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,323
賃貸借契約解約損	1,127	—
支払手数料	148,331	14,033
売上債権の増減額(△は増加)	△46,429	22,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95,705	32,212
預け金の増減額(△は増加)	257,082	△20,358
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,326	△13,665
未払金の増減額(△は減少)	185,371	41,053
前受金の増減額(△は減少)	△379,853	22,186
未収消費税等の増減額(△は増加)	△124,069	13,616
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,825	18,599
その他	60,919	△53,176
小計	133,936	414,526
利息及び配当金の受取額	588	666
利息の支払額	△38,768	△41,033
法人税等の支払額	△105,488	△20,648
法人税等の還付額	—	28,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,732	382,159

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,029	△100,038
定期預金の払戻による収入	100,021	100,029
投資有価証券の取得による支出	△200,563	△620
投資有価証券の売却による収入	198,768	—
有形固定資産の取得による支出	△762,551	△817,140
無形固定資産の取得による支出	△26,912	△1,500
資産除去債務の履行による支出	—	△6,581
敷金及び保証金の差入による支出	△100,250	△20,193
敷金及び保証金の回収による収入	2,046	7,425
長期前払費用の取得による支出	△38,009	△14,707
吸収分割による支出	—	△70,000
その他	△834	△276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△928,315	△923,603
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△381,200
長期借入れによる収入	4,875,000	3,662,700
長期借入金の返済による支出	△3,249,979	△2,374,175
リース債務の返済による支出	△12,416	△8,518
制限付預金の預入による支出	—	△7,200
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5,000
配当金の支払額	△81,239	△81,257
支払手数料の支払額	△148,331	△14,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,383,034	791,315
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	444,996	249,760
現金及び現金同等物の期首残高	1,598,213	1,044,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,043,209	1,293,985

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2019年5月15日開催の取締役会において、当社の従業員並びに当社子会社の執行役員及び従業員(以下「割当対象者」という。)に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分を行うことについて決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

1. 処分の目的及び理由

当社は、2019年3月15日開催の取締役会において、当社の割当対象者が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、より一層グループとしての価値共有を目指すことを目的として、割当対象者に対し、譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議いたしました。

2. 自己株式の処分の概要

処分期日	2019年5月15日
処分する株式の種類及び数	当社普通株式 144,200株
処分価額	1株につき 339円
処分価額の総額	48,883,800円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の従業員 13名 2,600株 当社子会社の執行役員 6名 1,200株 当社子会社の従業員 702名 140,400株
その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,228,290	2,828,839	845,223	25,116	97,676	6,025,146	353,942	6,379,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,370	34,199	303,638	825	340,035	9,151	349,186
計	2,228,290	2,830,210	879,423	328,755	98,502	6,365,181	363,093	6,728,275
セグメント利益又は損 失(△)	39,716	11,820	5,673	15,052	△95,701	△23,438	△15,182	△38,621

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業及び投資事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△23,438
「その他」の区分の損失(△)	△15,182
未実現利益の調整額	71
全社損益(注1)	△6,872
その他(注2)	5,510
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△39,911

(注) 1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2018年11月1日至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,299,417	2,772,007	758,550	25,101	265,840	6,120,917	482,553	6,603,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,800	2,060	55,577	308,364	634	369,436	7,817	377,254
計	2,302,217	2,774,068	814,127	333,466	266,474	6,490,354	490,371	6,980,726
セグメント利益又は損 失(△)	△112,643	16,292	4,606	4,316	17,278	△70,150	8,963	△61,186

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△70,150
「その他」の区分の利益	8,963
未実現利益の調整額	71
全社損益(注1)	109,674
その他(注2)	251
四半期連結損益計算書の経常利益	48,810

(注)1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社(現ロングライフメディカル株式会社)への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。